

いのち

第62号

ご自由にお持ちください

人に尽くし、研鑽を積み、信頼と喜びを明日へ



井上記念病院

医療安全管理部門室のご紹介

当院では、医療の質と安全管理を推進する目的で医療安全管理部門室を設置し、患者様やご家族、病院職員の安全確保、医療事故防止など病院全体の安全管理に取り組んでいます。医療安全管理部門室は、医療安全管理責任者、医療安全管理者及びその他必要な職員で構成されています。患者様に安全な医療が提供できるよう、毎月会議を開催し、医療安全カンファレンスと院内パトロールを毎週実施し、常日頃から医療安全対策に取り組んでいます。今回は、医療安全管理部門室の大きな活動内容を2つご紹介いたします。



医療安全対策地域連携に伴う病院間相互チェック

当院は、医療安全対策に関して千葉県がんセンターと連携し、年に1回、訪問による病院間相互チェックを実施し評価を受けています。相互チェックは、医療事故防止を図るため、第三者的視点から検証し、それぞれの病院の医療安全強化、改善につなげることを目的としています。また、病院間のコミュニケーション及び情報の共有により、訪問する側、受け入れ側の双方が医療事故防止策について学ぶことができます。

今年度は10月12日(火)に千葉県がんセンター訪問による「医療安全相互チェック」を受けました。

昨年度の相互チェックを受けての改善状況や医療安全体制やインシデント、アクシデント報告状況など、当院の医療安全に関する取り組みについて報告し、手術室のヒヤリング、8階病棟、薬剤部、放射線科、栄養課をラウンドし、患者誤認防止対策を重点的に手順書やマニュアルのチェックを受けました。

後日、千葉県がんセンターより「提言報告書」をいただき、指摘を受けた事項について「改善報告書」を作成しました。院内パトロールを実施して、安全対策面の問題について改善対策に取り組んでいますが、千葉県がんセンターからの外部評価で、内部評価ではわからない安全管理上の問題点が明らかになり、毎年大きな収穫を得ています。



千葉県がんセンターによる院内ラウンドの様子

医療安全週間

当院では、医療安全の確保は最も重要な課題の一つであることから、医療事故防止対策に取り組むとともに、医療従事者の理解や認識を深めることを目的として、毎年11月25日（医療安全の日）を含む2週間を「医療安全週間」と定め、全病院的に医療安全対策の推進を図っています。

今年度は、11月21日（月）～12月4日（日）を医療安全週間と定め、医療安全対策の推進を図りました。

実施の重点目標

医療従事者の医療安全に関する意識向上

医療機関における医療安全のための組織的な取組みの推進

結果としての医療事故の減少



主な実施内容

毎年、年間テーマを決めて取り組んでいます。

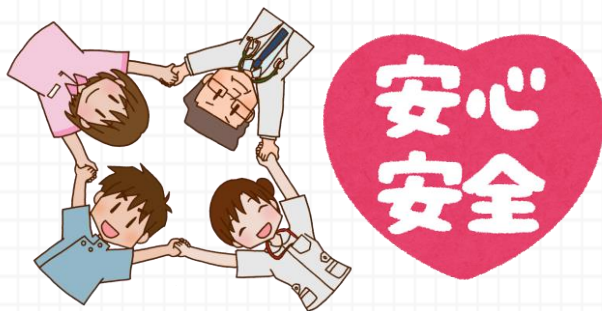
毎月の事例報告において、連携ができていなかったことが必ず発生要因として挙げられており、安全で適切な医療を実施するには、良好なコミュニケーションが鍵であること、また、先入観や思い込みによるヒューマンエラーを減らすためにも、気がかりなことはしっかり主張し、チェックバック（復唱して確認）しなくてはならないことから、スタッフ間のコミュニケーションの充実が患者様の安全を守るために重要だと考え、今年度のテーマは「スタッフ間の情報共有と良好なコミュニケーション」に決定しました。

また、毎回、標語を考える過程が医療安全に対する意識向上につながることから、年間テーマに添った標語を職員から募集し院長賞、副院長賞、医療安全管理部門室長賞を選出しています。募集した標語の受賞作品を記載したポスターを各部署に掲示しています。

各部署においては、医療事故防止担当者により医療安全に関する各部の業務改善計画を立てて取り組んでいます。

医療安全週間中に、外部講師を招いて講演会を実施しています。

今年度は「Basic Life Support」について、千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科助教 山地芳弘先生による講演会が開催されました。



受賞標語の表彰の様子

医療安全標語を募集し、応募作品71作品より選出した本年度の受賞作品です。

院長賞	あれ？おかしい？ 言える勇気と聞く心 みんなで作る 医療安全	
唐木副院長賞	お互いの関係性を高めて 仕事の質を高めよう	
小林医療安全管理部門室長賞	思いやり 歩み寄って 声かけしあう 良い職場	

医療安全週間
11月21日(月)～12月4日(日)
**「スタッフ間の情報共有と、
 良好なコミュニケーション」**

安全で適切な医療を実施するには、良好なコミュニケーションが鍵となります。毎月の事例報告において、連絡ができていなかったことが必ず発生要因として挙げられています。情報が正しく伝達されない、あいまいな伝達、伝達情報の誤った解釈など、誤伝達によるエラーや情報伝達がされない、言いつもり、伝達の省略、伝達しにくいなどのコミュニケーションエラーがあります。職種により認識や常識が異なることもありますが、各職種が持つ情報を正確かつ迅速に伝達し共有することが不可欠です。また、先入観や思い込みによるヒューマンエラーを減らすためにも、気がかりなことはしっかり主張し、チェックバック(復唱して確認)しなくてはなりません。スタッフ間のコミュニケーションの充実が患者の安全を守るために重要です。

院長賞
 あれ？おかしい？ 言える勇気と聞く心 みんなで作る 医療安全
 薬剤部

副院長賞
 お互いの関係性を高めて 仕事の質を高めよう
 健診

医療安全管理部門室長賞
 思いやり 歩み寄って 声かけしあう 良い職場
 6階
 医療安全管理部門室

↑ 各部署に掲示しているポスター

ご入院前に必ずお読みください
入院中の安全対策について

当院では、安全・安心な良質の医療を提供するために、患者様・ご家族の皆様にも医療安全活動に参加していただきたいと考えております。安全な医療を受けていただくために、患者様及びご家族の皆様にご理解とご協力をお願いいたします。



井上記念病院
 医療安全管理部門室

↑ 入院される患者様へお渡ししているパンフレット

患者様へのお願い

当院では、患者様のお名前を確認して誤認を防止し、安全な医療を受けていただくために、注射、処置、検査等を行う際には、お名前を言っていただくようお願いしています。

入院患者様には名前が記入されたリストバンドの装着をお願いしています。医療者側だけでなく、患者様に医療活動に参加・協力していただくことで、さらなる医療事故防止につながります。安心して医療を受けていただくために、ご理解ご協力をお願いいたします。



医療法人社団 普照会

井上記念病院

広報誌「いのうえ」
 企画編集／井上記念病院広報委員会
 発行／井上記念病院
 発行日／令和5年3月25日
 〒260-0027
 千葉市中央区新田町1-16
 TEL 043-245-8800 FAX 043-244-6200
<http://www.inouemh.or.jp>